

## 令和5年度高齢者保健事業について

「第2期高齢者保健事業実施計画（データヘルス計画）改訂版」に基づき各取組を実施しました。

## （1）フレイル対策＜重点項目Ⅰ＞

## ① 健康づくりの普及啓発（リーフレットの作成）

フレイルの予防に役立つ自主的な健康づくりの普及啓発を目的としたリーフレットを新たに作成し、75歳を迎えて被保険者となる方に対し、被保険者証と併せて送付しました。

従来の目標	リーフレットを作成し、75歳に到達した方への配布を継続します														
取組結果	<p>＜目標達成＞</p> <p>市町村や関係機関の意見を参考に、適宜内容の見直しを図った上でリーフレットを作成。対象者に配布し、健康づくりの普及啓発を継続的に実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作成部数</td><td>115,000</td><td>137,000</td><td>130,300</td></tr> <tr> <td>配布部数</td><td>94,061</td><td>113,031</td><td>106,773</td></tr> </tbody> </table>				令和3年度	令和4年度	令和5年度	作成部数	115,000	137,000	130,300	配布部数	94,061	113,031	106,773
	令和3年度	令和4年度	令和5年度												
作成部数	115,000	137,000	130,300												
配布部数	94,061	113,031	106,773												

## ② 歯科健診結果を活用したアウトリーチ型の介入

健康長寿歯科健診の結果から、嚥下機能の低下が見られ、フレイルの兆候が疑われる者を抽出し、市町村の介護部門等による戸別訪問指導や介護予防事業への参加勧奨等を行いました。

従来の目標	歯科健診結果を活用したアウトリーチ型の介入支援を継続します														
取組結果	<p>＜目標達成＞</p> <p>埼玉県歯科医師会や市町村と連携し、抽出基準等の見直しを行い、実施要領や保健指導の標準プログラムを作成。事業実施については、アプローチ方法を工夫することにより、事業を実施することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>該当者</td><td>883</td><td>1,165</td><td>3,396</td></tr> <tr> <td>実施人数※1</td><td>189</td><td>201</td><td>423</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 戸別訪問指導以外に介護予防事業への参加、電話等で保健指導を実施した者を含む</p>				令和3年度	令和4年度	令和5年度	該当者	883	1,165	3,396	実施人数※1	189	201	423
	令和3年度	令和4年度	令和5年度												
該当者	883	1,165	3,396												
実施人数※1	189	201	423												

（２）生活習慣病の重症化予防＜重点項目Ⅱ＞

健診結果から、血糖や血圧等といった生活習慣病を引き起こす因子が一定基準以上であった者のうち、医療機関において継続的な治療を受けていない者を抽出して医療機関への受診勧奨を行いました。

従来の目標	受診勧奨の取組を継続し、生活習慣病の重症化予防に努めます																		
取組結果	<p>＜目標達成＞</p> <p>実施時期や実施方法を見直すことにより、より重症化リスクの高い者に焦点を当て、受診勧奨し、受診につなげることができた。</p> <p>高血糖のリスクが特に大きい者について、重層的な受診勧奨（文書勧奨、市町村職員による個別介入）を実施し、より一層の生活習慣病重症化予防に努めた。</p> <table><tr><td></td><td>令和３年度</td><td>令和４年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>送付件数</td><td>1,513</td><td>2,060</td><td>2,284</td></tr><tr><td>実施人数</td><td>153</td><td>180</td><td>275</td></tr><tr><td>受診につながった人数 （割合）</td><td>263 (17.4%)</td><td>273 (13.3%)</td><td>432 (18.9%)</td></tr></table>				令和３年度	令和４年度	令和５年度	送付件数	1,513	2,060	2,284	実施人数	153	180	275	受診につながった人数 （割合）	263 (17.4%)	273 (13.3%)	432 (18.9%)
	令和３年度	令和４年度	令和５年度																
送付件数	1,513	2,060	2,284																
実施人数	153	180	275																
受診につながった人数 （割合）	263 (17.4%)	273 (13.3%)	432 (18.9%)																

### (3) 適正受診・適正服薬の推進

#### ① 健康相談等訪問指導

重複受診又は頻回受診の傾向がある被保険者について、保健師または看護師による健康相談及び適正受診に係る訪問指導を民間委託により行いました。

従来目標	毎年度実施し、改善割合 80%以上を維持します		
取組結果	＜目標おおむね達成＞ 近年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、改善割合は未達成ながら、目標である 80%に近い割合で推移しており、実施方法を見直しながら、事業を継続できた。		
		令和 3 年度	令和 4 年度
	実施人数	153	120
	改善割合※	77.9%	71.2%
			調査中
※指導前 3 か月において、下記の 1～3 のいずれかに該当する被保険者のうち、希望者に指導を行い、指導後 3 か月で、1～3 に該当する月数が減少した者の割合			
1. 重複受診：同一月内に、同一疾病に係るレセプトが 2 件以上			
2. 頻回受診：レセプト 1 枚当たりの診療実日数が 20 日以上			
3. 多受診：同一月内のレセプトが 4 件以上			

#### ② 適正服薬の推進（かかりつけ薬局の普及啓発）

多剤服用による薬物有害事象（ポリファーマシー）の防止と調剤医療費の適正化を目的として、埼玉県薬剤師会と連携し、複数の薬局を利用している被保険者に対し、薬局利用に関する行動変容を促す通知の送付を行いました。

従来目標	適正服薬の取組を継続します		
取組結果	＜目標達成＞ 埼玉県薬剤師会と連携し、実施内容を見直すことで、継続的に取組を実施した。		
		令和 3 年度	令和 4 年度
	送付件数	281	300
			令和 5 年度
			275

#### （４）医療費適正化の推進

##### ①「医療費のお知らせ」の発行

被保険者に自身の健康及び医療費についての関心を深めてもらうことを目的として、定期的に「医療費のお知らせ」を発行し、被保険者一人ひとりにかかった医療費を通知しました。

従来 of 目標	「医療費のお知らせ」の発行を継続します			
取組結果	<目標達成> 被保険者数の増加に伴い、年々送付件数も増加しているが、事業を継続することができた。			
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	送付件数	2, 786, 208	2, 935, 791	3, 085, 065

##### ② ジェネリック医薬品の使用促進

調剤医療費の適正化を図ることを目的として、ジェネリック医薬品の使用促進のため、被保険者証に併せて「ジェネリック医薬品希望シール」を配布するとともに、「ジェネリック医薬品差額通知」の送付を行いました。

従来 of 目標	ジェネリック医薬品の数量シェアを 80%以上にします			
取組結果	<目標達成> 埼玉県医師会及び埼玉県薬剤師会と連携し、数量シェア 80%以上に達することができた。 通知件数…85, 711 通			
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	数量シェア	79. 0%	81. 2%	86. 1%

## (5) 健康診査・歯科健診

### ① 健康診査の実施及び受診率向上

生活習慣病等の発症や重症化の予防及び心身機能低下の防止を目的として、市町村への委託により、健康診査を行いました。また、被保険者の健診自己負担無料化等、受診率向上のための取組を実施しました。

従来の目標	令和4年度までに健診受診率を40%以上にします 全ての市町村の受診率を20%以上に引き上げます		
取組結果	＜目標未達成＞ 目標値には達しなかったものの、要綱などを見直し、健診自己負担を無料としたことで、受診率は全体的に上昇した。併せて、市町村の事務負担軽減が図られた。		
		令和3年度	令和4年度
	受診率	32.6%	34.3%
	受診率20%未満の市町村数	9	8

### ② 歯科健診の実施及び受診率向上

前年度中に75歳及び80歳に到達した被保険者を対象として、埼玉県歯科医師会への委託により「健康長寿歯科健診」を行いました。また、市町村への広報協力依頼や、埼玉県歯科医師会と協議を重ね、受診率向上のための取組を実施しました。

従来の目標	令和4年度までに健康長寿歯科健診の受診率を10%以上にします		
取組結果	＜目標おおむね達成＞ 埼玉県歯科医師会や市町村の協力を得て、積極的に周知等に取り組み、受診率は向上した。		
		令和3年度	令和4年度
	受診率	8.7%	10.6%
			令和5年度

## （６）高齢者保健事業等の実施体制整備

### ① 市町村の健康増進事業への経費補助

市町村が地域の実情を踏まえて実施する健康増進を目的とした取組を支援するため、国から交付される特別調整交付金を活用して経費補助を行いました。

取組結果	<p>&lt;目標達成&gt;</p> <p>市町村が実施する長寿・健康増進事業等について、要綱に定めた項目に対し、継続的に経費補助ができた。</p>
------	---

### ② 市町村との意見交換

広域連合と市町村が連携して高齢者保健事業を推進するため、市町村が実施する後期高齢者保健事業の実態調査や意見照会、会議等での意見交換を行いました。

取組結果	<p>&lt;目標達成&gt;</p> <p>主管課長会議や市町村への意見照会等を行うことで、市町村の意見を研修会やデータ提供等の内容に反映することができた。</p>
------	---

### ③ 高齢者保健事業担当者研修会の開催

高齢者保健事業の実施に係る事項の説明や、高齢者保健事業に携わる担当職員のスキルアップ等を目的として、市町村職員を対象とした研修を行いました。

取組結果	<p>&lt;目標達成&gt;</p> <p>埼玉県国保医療課、埼玉県国民健康保険団体連合会と連携し、また、研修会のアンケート結果等を活用することで、効果的・効率的に研修を実施することができた。</p>
------	---

#### ④ 市町村の一体的な実施の取組への支援・連携

これまでフレイル対策・生活習慣病対策としての保健事業（医療保険）と介護予防（介護保険）が制度ごとに実施されてきたものの、人生 100 年時代を見据え、保健事業と介護予防が一体的に実施されることが求められるようになり、令和 2 年度より、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」の取組が開始されました。取組を行う市町村において、円滑に実施されるよう、市町村と意見交換を行うとともに、各種データの情報の収集、提供及び活用方法、有識者からの助言・指導等の調整を行いました。

取組結果	<目標達成>		
	市町村が実施主体となって積極的に取組を実施できるよう支援・連携し、54 団体が一体的実施の取組を行うことができた。		
		令和 3 年度	令和 4 年度
	一体的実施取組市町村数	33	42
			令和 5 年度
			54